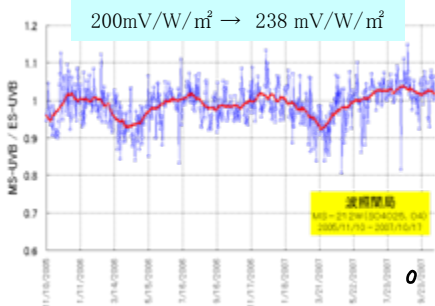


国立環境研究所・直轄局(落石岬、陸別、つくば、波照間)

局代表者：小野 雅司

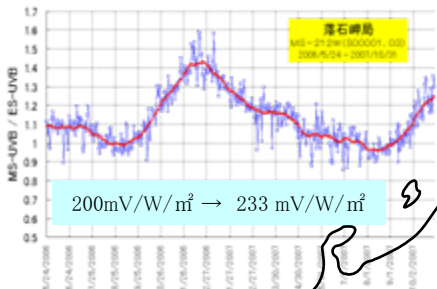
直轄局の全ての情報を使い、UV-B量 (& UV-A量)の精度維持に努めている。特に帯域型UV-B計の感度変化の監視は重要である。その為に、UV-A量からUV-B量を適切に推定する方法が求められている。

快晴日、UV-A量からUV-B量を推定するには、Brewer分光光度計のオゾン全量、UV-B量、同時並行測定しているMS-212A (UV-A量)の組み合わせが必須である。

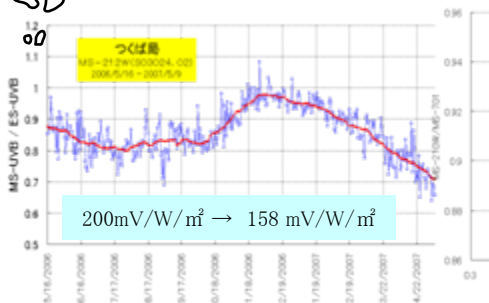


波照間局：MS-212A、MS-212W、MS-802F
FTPサーバー、FTPクライアント、WEBサーバー、NTPクライアント
NIESモニタリングステーション

落石岬：MS-212A、MS-212W、MS-402F、FTPサーバー、FTPクライアント、WEBサーバー、NTPクライアント
NIESモニタリングステーション

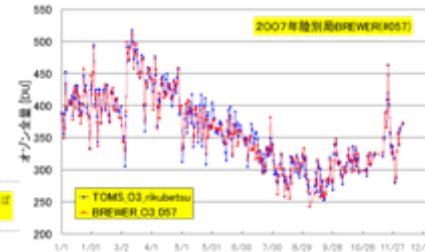
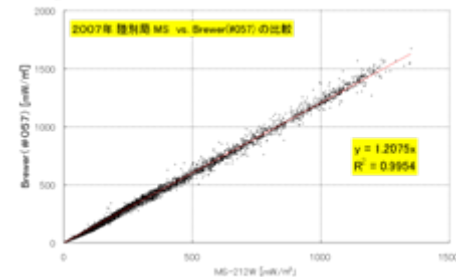
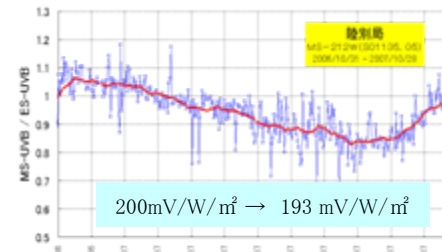


つくば：MS-701、MS-212A、MS-212W、MS-402F
FTPサーバー、FTPクライアント、WEBサーバー、NTPクライアント



MS-701 (300nm-400nm)はUV-B量(一部)とUV-A量をカバーし、帯域型UV-A計のデータからUVインデックスを推定する為に必要な測器である。また、MS-212W(or MS-210W)のスペクトルミスマッチエラーを評価することができる。

陸別：Brewer057、MS-212A、MS-212W、MS-402F
FTPサーバー、FTPクライアント、WEBサーバー



Brewer分光光度計 (290nm-325nm)はUV-B量を正確に測定する。UV-B量とオゾン全量は、UVインデックスを推定する為に不可欠な情報である。また、同時並行測定しているMS-212AのUV-A量からUV-B量を推定する変換式を求めている。